

病害虫発生予察情報

5月月報

令和2年6月22日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2020年 5月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	24.0	1.4	13.2	0.8	18.7	1.5	9.5	34	70.6	127
中旬	24.4	1.8	14.9	1.8	19.5	1.9	61.0	124	55.6	115
下旬	24.0	-0.2	15.2	0.8	19.2	0.2	9.5	18	50.8	79
平均	24.1	0.9	14.5	1.2	19.1	1.1				
合計							80.0	62	177.0	105

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：高気圧や低気圧が交互に通過し、周期的に変化した。気温の変動が大きく、前半を中心に暖かい空気に覆われてかなり高い日があったが、中頃は寒気の影響で気温の低い日があった。

中旬：中頃までは高気圧や低気圧が交互に通過し周期的に変化したが、期末は低気圧や寒気の影響で雨や曇りとなった。期間の中頃までは暖かい空気に覆われて気温が高く、かなり高い日もあった。

下旬：初めは湿った空気や寒気の影響で雨の日が続いたが、その後は周期的に変化した。気温は全般に高い日が多かったが、期間の初めは寒気が流れ込みかなり低い日があった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設トマトでは奇形果（乱形果・窓あき）の発生が多かった。スイートコーン、エダマメ、露地キュウリ等の生育は順調であった。

葉菜類：ハウレンソウ、コマツナ等は生育が早かった。タマネギ、ネギで抽苔の発生が多く確認された。

イモ類：区部及び西多摩の一部地域では、ジャガイモ夏疫病の影響により、生育が芳しくなかった。

(2) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場（灰色低地土）におけるカキ主要品種の開花期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。平核無の開花始期は平年並み、その他の品種は開花始期及び開花盛期ともに、2～5日早かった。

平核無:開花始 5月13日(±0日)、開花盛 5月15日(-2日)
 東京紅:開花始 5月16日(-2日)、開花盛 5月17日(-4日)
 次郎:開花始 5月17日(-2日)、開花盛 5月19日(-3日)
 松本早生:開花始 5月18日(-4日)、開花盛 5月20日(-5日)

(3) 茶樹

摘採は5月連休明けから始まり、5月末でもまだ終了していない農家もあった。生葉収穫時期については寒暖差が大きく、早生品種では、畑により例年と比較して遅れが見られた。

3 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< やや少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はともにやや少なかった。
ナシヒメシンクイ	< やや多 >	発生はやや多かった。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

トマト (施設・半促成)

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス		
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
(4) 花きの病害虫		
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
(5) 植木の病害虫		
ツバキ・サザンカ		
チャドクガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ケヤキ		
ケヤキヒゲマダラアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

三宅島：アシタバでヒメヨコバイ類の発生がやや多かった。野菜類全般でハモグリバエ類の発生が多かった。

八丈島：サヤエンドウでうどんこ病、サトイモでアブラムシ類の発生が多かった。それ以外の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>
病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。